

新型インフルエンザへの対応について

日頃より、本校の教育活動にご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本校では、生徒の新型インフルエンザへの感染予防及び重症化の回避のため、下記のとおり対応いたしますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

記

1 新型インフルエンザの症状と感染予防、感染した場合の対応について

(1) 症状…発熱、咳、鼻水、全身のだるさ、頭痛、関節痛等

(2) 感染方法

[飛沫感染]感染した人の咳、くしゃみ、つばなどとともに放出されたウイルスを健康な人が吸い込む感染

[接触感染]感染した人がくしゃみや咳を手で押さえた後や鼻水を手でぬぐった後に他のもの（机、ドアノブ、つり革、スイッチなど）に触ることにより付着したウイルスによる感染 → 人がその付着したウイルスに触れた後に、目、鼻、口に再び触れることにより、粘膜・結膜などを通じての感染

(3) 感染の予防法

① 必要のない外出は控えさせてください。特に、濃密な接触が起きやすい多くの人が集まる場所や、カラオケボックスのような密室となる場所などに行かせないでください。

② 外出した場合は、うがいや手洗いをさせてください。手洗いは石鹸を使って行い、洗った後は清潔なタオルやペーパータオル等で拭き取ってください。

③ 咳やくしゃみのしぶき（飛沫）は約2m飛びますので、咳をしている人がいたら十分離れるようご指導ください。また、自分が咳をする場合は、周囲の人から十分離れ、ハンカチやティッシュで口を押さえてください（咳エチケット）。口を押さえたティッシュはゴミ箱へ、口を押さえた手はただちに洗ってください。

④ 人と接触するようなところでは、マスクを着用させてください。

(4) 感染した場合や疑いがある場合の対応（A型インフルエンザ診断も含む）

① A型（新型）インフルエンザ様の症状がある場合は、無理に登校せず、すぐに病院を受診ください。また、本人または保護者の方は、速やかに担任に連絡をしてください。登校については、医師の許可や指示に従うことになります。

② 感染者との濃厚接触により感染した疑いがあり、登校を判断しにくい場合は速やかに健康状況を担任等にご相談してください。

2 臨時休業（学級閉鎖、学年閉鎖、休校）等の対応について

(1) 学級閉鎖、学年閉鎖、休校について

学校にてインフルエンザ様症状の生徒が、複数発生した場合には、学級閉鎖・学年閉鎖・臨時休校を検討します。

(2) 臨時休業の連絡

① 生徒が登校している場合…ホームルーム等で臨時休業期間や再登校日の予定及び留意事項等について生徒に伝達し、生徒を通じて保護者へ連絡します。

② 休日や生徒が放課の時刻の場合…クラス緊急連絡網等を使って生徒に伝達します。

※いずれの場合においても、本校ホームページに臨時休業や再登校に関する連絡事項を掲載します。

<http://www.chiba-c.ed.jp/urayasu-h/>